

あけましておめでとうございます

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

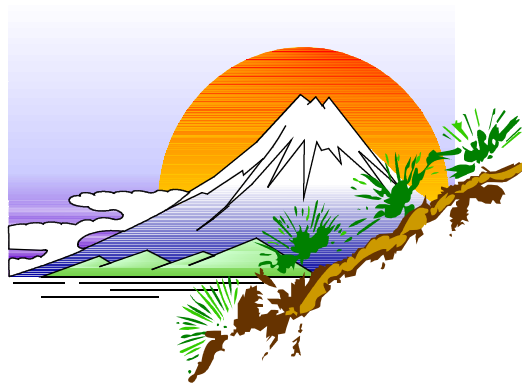
平成30年（2018年）を迎えました。昨年中は、保護者や地域の皆様より、温かいご支援やご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新しい年を皆様とともに迎えることができましたことを本当にありがたく存じます。美郷北学園は、平成27年4月開校以来4度目の春を迎えます。昨年は、運動会や北郷フェスティバルなどの行事に多くの皆様が足を運んでくださいました。また、子どもたちの健全育成にたくさんの皆様のお力添えをいただくことができましたことに、衷心より感謝申し上げます。

平成30年という節目に当たり、美郷北学園も開校4年目の新しい時代を迎えることになります。これまで「気風創造」を合い言葉に、新設校の基盤づくりに取り組んでまいりましたが、これからは「美郷北学園ならではの教育」の確立に向けて邁進する所存です。過去3年間で創り上げてきた気風（校風）を大切にしながら、子どもたちや保護者、そして地域のための学校として、職員一同がんばってまいります。

本年も、皆様のご支援とご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年1月 美郷北学園 校長 末廣恭雄



新年の抱負

～始業式での作文発表から～

9日（火）は、3学期の始業式でした。3人の代表発表の概要をご紹介します。

◇ 坂本凜さん（3年）

がんばることは①JRC活動 ②下学年に優しくする ③習字の級を上げる の3つ。前期ブロックのリーダーとして当たり前のことが当たり前にできるようになりたい。

◇ 佐貝凜さん（5年）

がんばることは、漢字（漢検）6級合格とJRC活動（特にあいさつ運動）の2つ。苦手なことにチャレンジして、できることを増やしたい。

◇ 竹原賢龍さん（9年）

「自分に負けない」という目標を立てた。高校入試というこれまで経験したことのない大きな壁が立ちはだかるが、9年生が一つになって乗り越えていきたい。笑顔で卒業の日を迎えたい。



節目の年を迎えるに当たって



平成に入り、早いもので30年が経とうとしています。当時の小渕官房長官が「平成」の文字を掲げ新しい元号を紹介していたのがついこの間のようです。その平成も来年4月をもって新しい時代を迎えます。次の元号はどうなるのか、こちらも気になるところです。

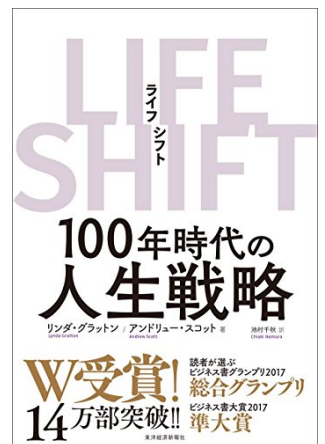
さて、少子・高齢化社会の到来や医療技術の飛躍的進歩などによって、これからの私達の生き方は大きく変わろうとしています。そこで、この数年世界的な話題となっている「100年ライフ」についてご紹介します。皆様の生き方のヒントとなれば幸いです。

100年ライフとは

2012年英国のグラットン教授は、平均年齢100歳の長寿化時代「100年ライフ」を予測し、それを乗り切るための心構えと未来の働き方を「ライフ・シフト」という本にまとめました。

教授は、人間の余命は年月と共に伸びることを前提とした「コーホート平均年齢」を元に、2007年生まれ（現在10歳）の子どもは平均寿命が105歳前後となると予測しています。同じく、今20歳の人平均寿命100歳、40歳の人平均寿命95歳になるとし、これまでの人生の3ステージモデル（20年間教育を受け、45年間働き、退職して老後15年間を過ごす）が成り立たなくなると提言しています。つまり、65歳の定年後、40年間も老後（？）を過ごすことになるわけです。

定年や老後と聞くと重く暗いイメージをもちやすいのかもしれませんが、これからやってくる未来は、今よりもっと多様で明るい社会なのかもしれません。「70歳・80歳でも現役」・・・そう考えると、なんだかワクワクしてきます。そして、そうした未来を生きるためにも、今をしっかりと、生き生きと生きることが大切なのではないのでしょうか。



行事予定



- 5日（月）劇団四季公演（5年）
- 6日（火）町立志式（8年）
- 7日（水）県立高推薦入試（9年）
- 8日（木）入園説明会
- 9日（金）進級説明会（6年）
- 14日（水）学年末テスト（中）～16日
- 23日（金）参観日（中）

明日のチカラ

面しろきこともな
き世を面しろく
住みなすものはこ
ころなりけり

高杉 晋作

ホームページを
ご覧ください！

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1665/htdocs>

または、

美郷町立美郷北学園

検索

